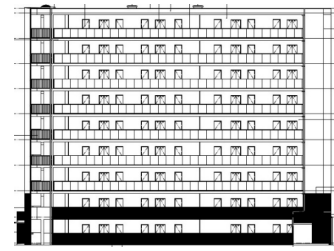


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社エコロ様共同住宅新築工事	階数	地上9F
建設地	大阪府豊中市稲津町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年9月19日
敷地面積	1,020 m ²	作成者	幸村 賢二
建築面積	388 m ²	確認日	2024年9月19日
延床面積	2,551 m ²	確認者	幸村 賢二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	・周囲の街並みに調和する色調とした。	その他 ・特になし。
Q1 室内環境	・Low-E複層ガラスおよび高性能の断熱材を採用することで断熱性に配慮した。 ・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染の回避に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) ・空地を設け、敷地内の歩行者空間等へ風を導き、暑熱環境緩和に努めた。
LR1 エネルギー	・高断熱、高効率設備を採用し省エネルギーに努めた。	LR3 敷地外環境 ・敷地境界からの後退距離を十分にとることで、建物後流域での風の回復促進に努めた。 ・緑地を設け、地表面の温度上昇の抑制に努めた。 ・適切な量の自転車置き場および駐車スペースを確保、駐車場導入路を十分に設けることで周辺道路の渋滞緩和に配
Q2 サービス性能	・特になし。	
LR2 資源・マテリアル	・LGST地により躯体と仕上げ材が容易に分別可能とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	株式会社エコロ様共同住宅新築工事								
建設地	大阪府豊中市稲津町								
用途/区分	集合住宅								
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-		
①	CO2削減						3		
②	みどり・ヒート アイランド対策						2		
③	断熱性能						4		
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	1	2	3	4	5	6
④	エネルギー消費性能						5		
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分						1
		評価対象外					評価対象外		
⑤	自然エネルギー直接利用						○		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—		
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目	評価内容					スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.3	3		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	2		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0			
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					4.0	4		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-		
その他									
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項					
特に配慮した事項									